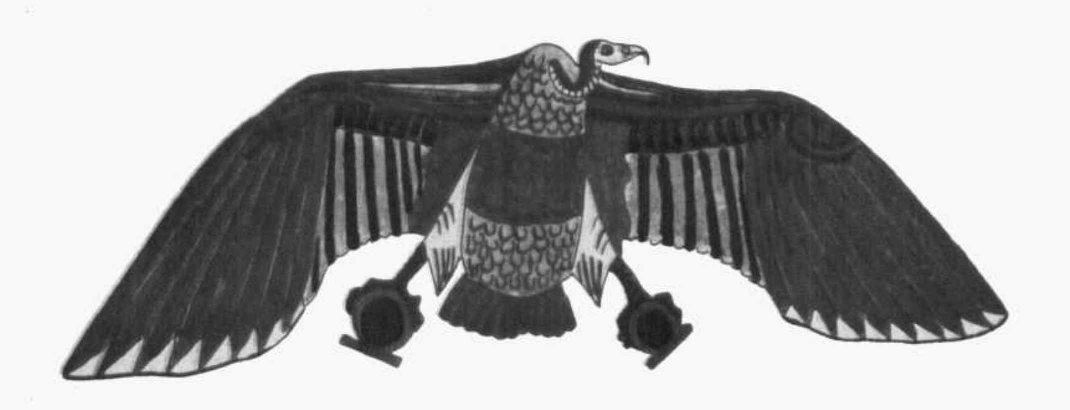
象形文字のアルファベット

アメルフセインによって書かれた物





上の絵：　ネクベト女神　－　上エジプトの象徴

初版
アメルフセイン出版社
デポジットナンバー : 17670-2004
アメルフセイン出版社電話番号：００２－０１０－５２４－５５２０
E-mail amrhussein27@hotmail.com

I.S.B.N: 977-17-1757-X

まえがき

古代エジプト人が世界ではじめて文字を使ったと言うことが歴史にしるされています。その結果、古代エジプト人は人間のすばらしい遺産を残し、永遠の文明を偉大なナイル川のほとりに築きました。

ヒエログリフと言う言葉は、ギリシャ起源まで遡ります。神聖を意味するヘイロス（ヒエロ）と、また文字を意味するグルス（グリフ）と言う二つの部から成っています。つまり、全体で「神聖な文字」を意味します。

エジプト学者たちは、古代エジプト人が文字を使い始めたと言うことをはっきり証言できませんが、文字が早い時期の第一王朝の前に現れたと言うことにはみんな賛成しています。

古代エジプト人は、言葉と文字に興味があり、毎日の取引を容易にするために、時々言葉と文字を変えて発展させてきました。それゆえに、古代エジプトで、特に図形が発展し、神殿とお墓の壁に彫る文字と、宗教的な事を記録する文字には象形文字が使われていました。しかしながら、古代エジプトの早い時期の王朝のとき、もっと短くて速く書ける文字が象形文字から新しく作り出されて、今までより早くパピルス紙に書けるようになりました。
長い間、種類の書き方が両方とも存在し、のちにデモティクと言う庶民の書き方が現れるまで、それぞれ特有の使われ方をしていました。

デモティクは、紀元前１７世紀の末期にもっと簡単な形になりました。１７９９年にロゼッタストーンが発見されたときには、ヒエログリフが分からなくなっていました。
ロゼッタストーンは、玄武岩で出来た未完成の記念碑です。現在の寸法では長さが１１４センチで、幅が７２センチです。紀元前１９６年に、エジプトの王様として即位したエピファソスポトルミ５世の戴冠式の一年目後に、聖職者のリーダーたちによって布告が彫ら

れたものです。

この布告は、ヒエログリフ、デモティク、ギリシャ語と言う三つの種類の言葉で彫られました。その結果、シャンポリオンに指導されたエジプトの学者たちは、ギリシャ語を手がかりとして、この言葉の謎を解明することができました。ヒエログリフはもともと **24** 文字のアルファベットで構成されていましたが、それ以上のさまざまな図形と記号も持つようになりました。ヒエログリフは、発音されるものとされないものがあります。発音されるものはアルファベットに加わることもあれば、それら自体で独立して言葉を構成することもあります。しかし発音されないものは、常にアルファベットと一緒に書かれ、その言葉の意味を示す役割を果たします。

図形と記号が数種類あるために、古代エジプト人は母音は書かず、子音だけ書いて言葉の意味を表しました。そのため、言葉の意味は正しく理解できても、その時代にどの様に発音されたかは正しく分かりません。

おそらく、象形文字の図形の豊かさこそが、象形文字を魅力的なものにしている大きな要素でしょう。古代エジプト人は、芸術性豊かな彫刻や文字によって、巧みにその図形が意味する言葉をあらわしました。

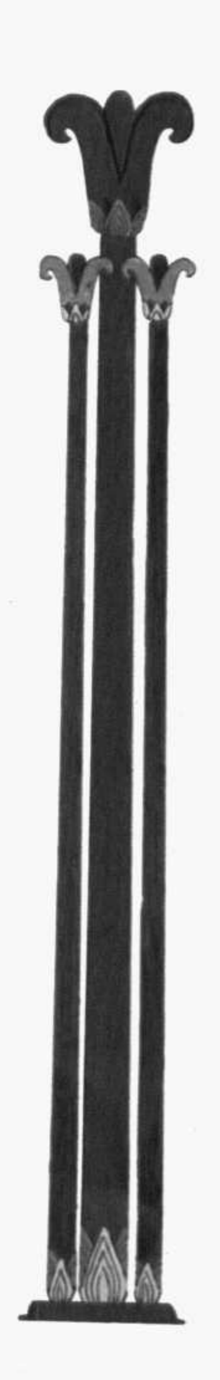
芸術的な、絵と図形、そして、科学的な意味と意義を持つヒエログリフ、この偉大な言葉を作り出した古代エジプト人を尊敬せずにはいられません。




地中海
アレキサンドリア
ギザ
カイロ
サッカーラ
シナイ半島
ファイユーム
テル・アル=アマルナ
エジプト
紅海
ルクソール
エスナ
エドフ
コム・オンボ
アスワン
カイロ
アブ・シンベル

アルファベット記号

象形文字のとおり、２４文字からなっています。



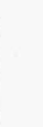
 ア　エジプトのワシ

 イ　開花アシ

 イ　２つの開花アシ

 ア　前腕

 ウ　ウズラのひな

 ブ　足

 ブ　踏み台

 フ　角がある毒蛇

 ム　フクロウ

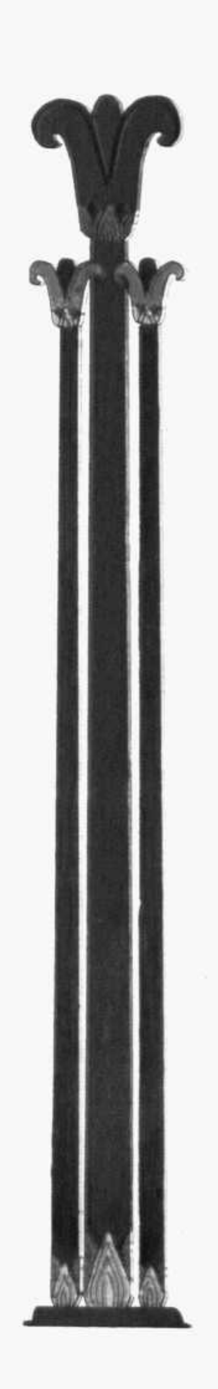
 ヌ　水

 ル　口

 フ　アシの小屋

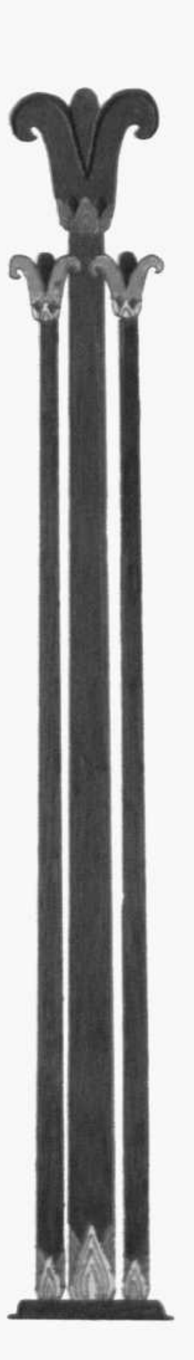


フ	よじれた亜麻
ク	胎盤
ク	乳首のある動物の腹
ス	（1）かんぬき （2）折り重ねた布
シュ	池
ク	丘の斜面
ク	把手付きの篭
グ	ピン立て
ト	パン
チュ	つなぎ縄
ド	手
ジュ	蛇



その他

	ル	ライオン
	ン	王冠
	ム	2本のあばら骨
	ワ	一巻きの紐
	ト	杵
	ズ	腕
	オ	投げ縄



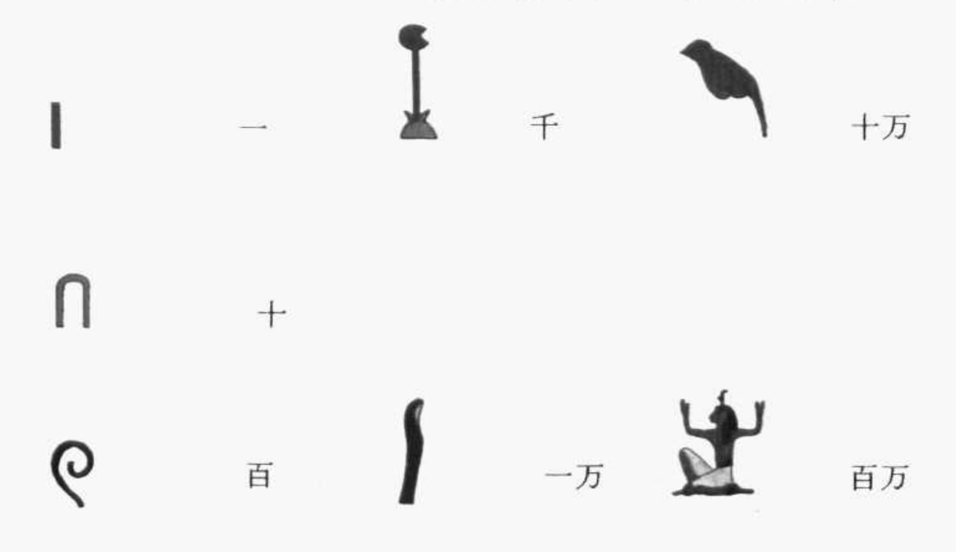
限定記号の例

前に述べたように、象形文字は、発音されない記号を持っています。
この記号は言葉の意味をはっきりする役割を果たします。
たとえば：

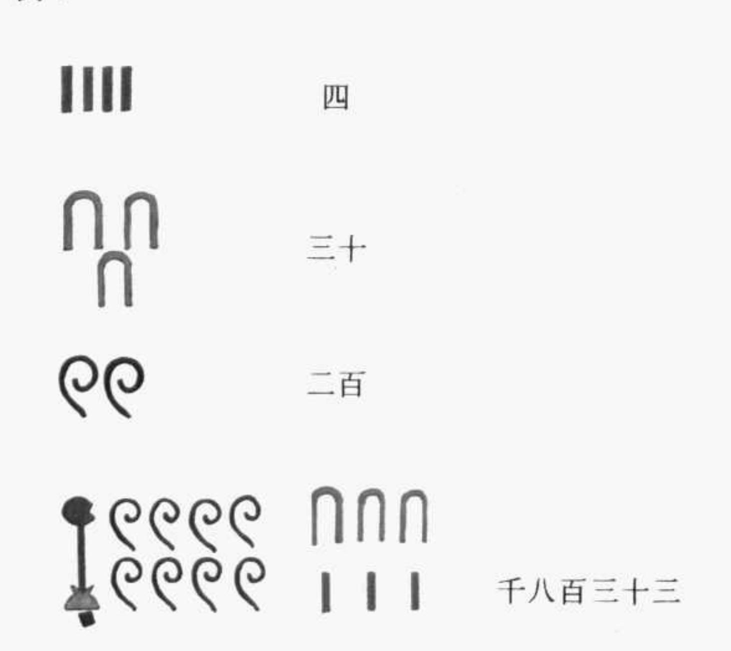


数の表示

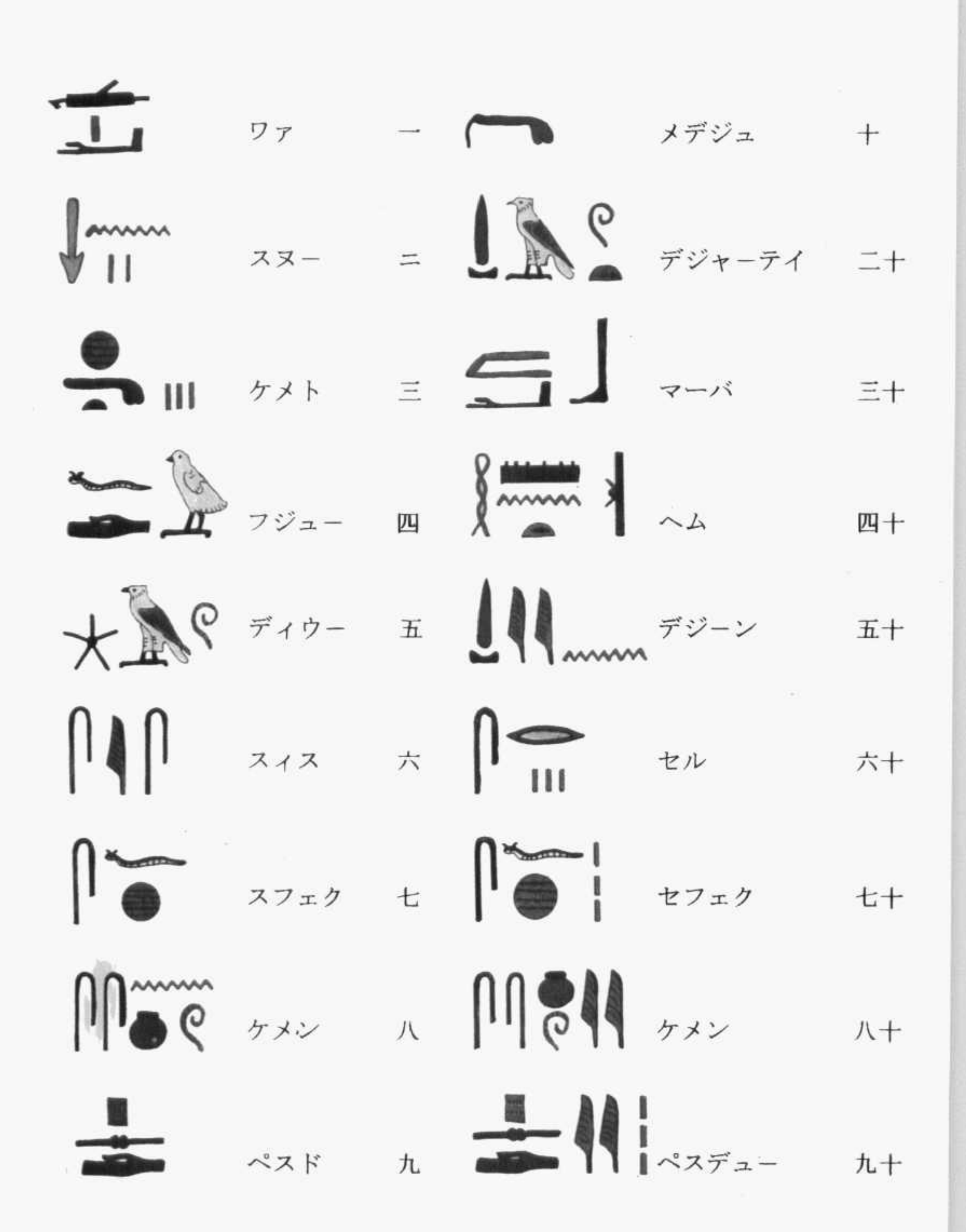
古代エジプト人はいつかの記号を数字として使いました。



例：



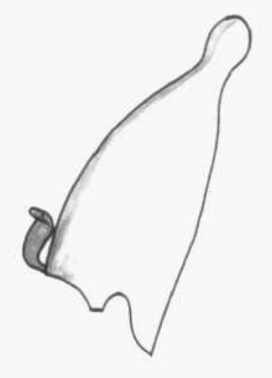
文字で表す数字



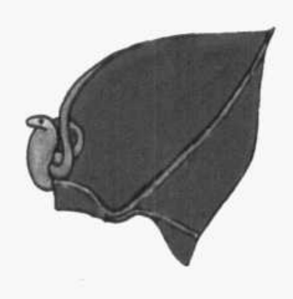
ワァ
一
メデジュ
十
スヌー
二
デジャーテイ
二十
ケメト
三
マーバ
三十
フジュー
四
ヘム
四十
ディウー
五
デジーン
五十
スィス
六
セル
六十
スフェク
七
セフェク
七十
ケメン
八
ケメン
八十
ペスド
九
ペスデュー
九十

	セヘト	百
	カー	一千
	ジュバー	一万
	ヘフン	十万
	ヘヘ	百万

王冠



ヘドジェト
上エジプトの白冠



ケペルシュ
青冠



デシュレト
下エジプトの赤冠



アテフ冠



セケムティ
二重王冠



ネメス
頭飾り

爵位



上下エジプトの王

ネスービト名



太陽神ラーの息子

サーラー名

永遠の命を与える

ディ　アンク　ジュト

ラーのような永遠の命を与える

ディ　アンク　ミ　ラー



2つの国の王、神

ネスー　ネブ　ターウィー



偉大な家

ペル　アー



ネテル　ネフェルー

良い神



ヘム　エフ

国王陛下



ネブ　カーウー

王冠の主



アンク　ジェト

永遠の命を持つ者



マー　ケルー

正当と認められた者



ネブ　ネスート　ターウィー

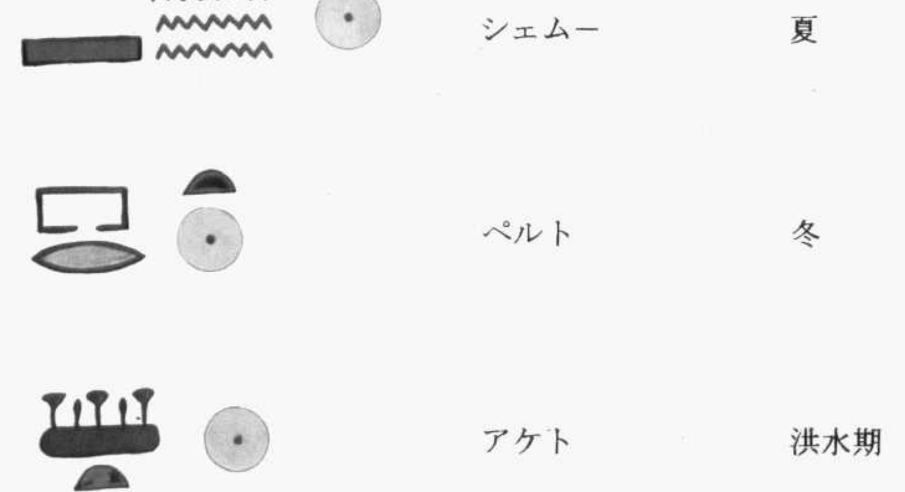
2 国の王座の王

時間



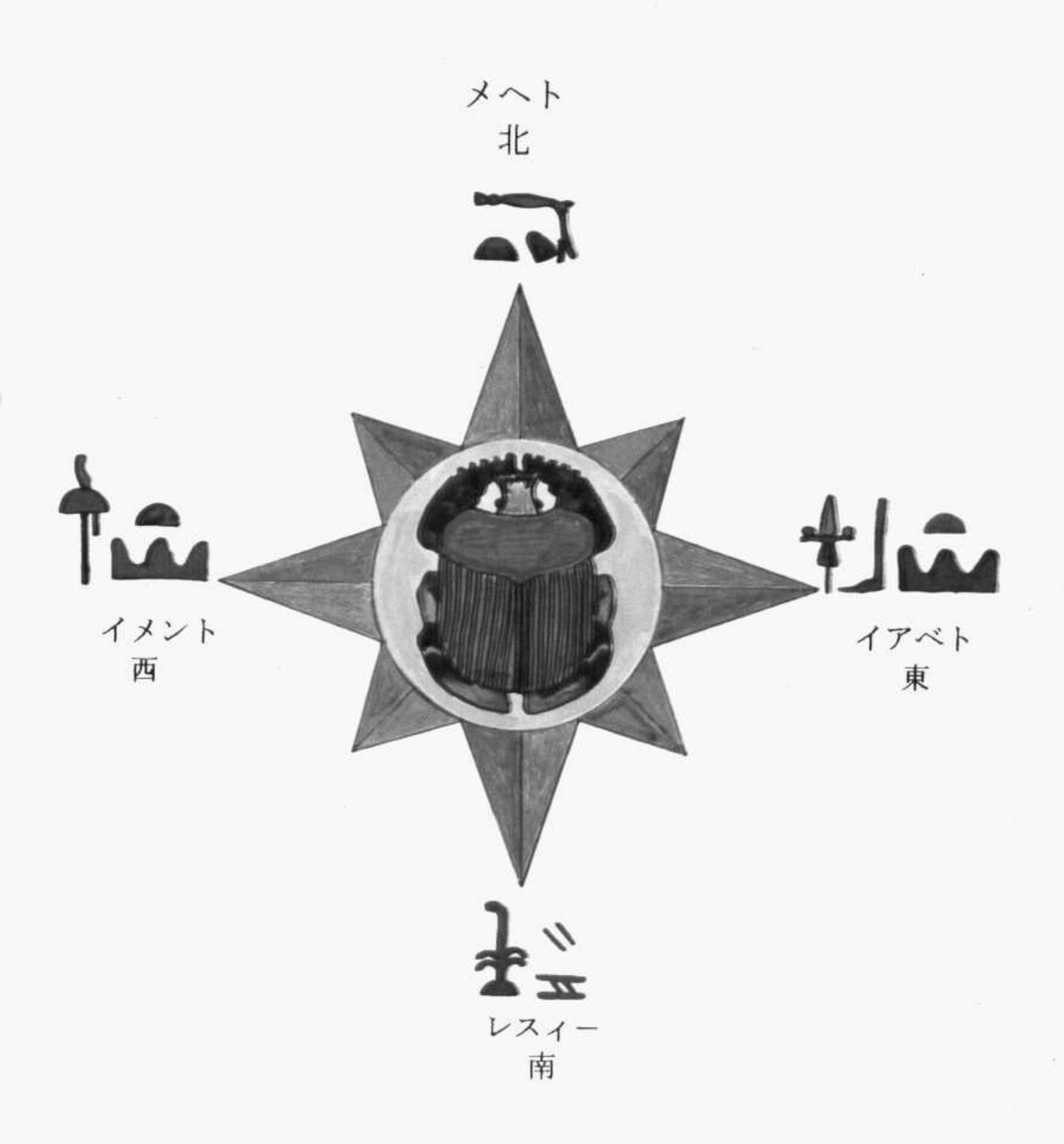
ハート	秒
ヘルー	日
アート	分
アブド	月
ウェンウェト	時
レンペト	年

季節



シェムー	夏
ペルト	冬
アケト	洪水期

方角



宝石類



ケスベド	ラピスラズリ、青金石
メフケト	トルコ石
ネブー	金
ヘデジュ	銀
アーウ	指輪
ウェセク	首輪
ネビート	首輪
メニート	ビーズ　ネックレス



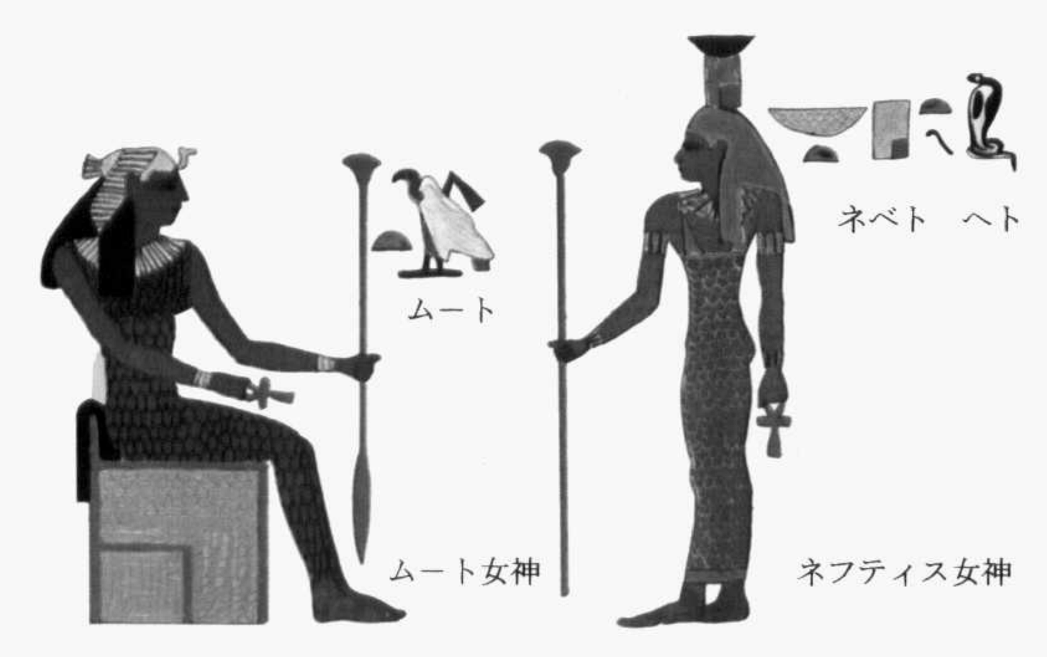




エジプトの宝石の一例

古代エジプトの神々の一例







ヘル

ホルス神



トゥト

トト神



ウシール

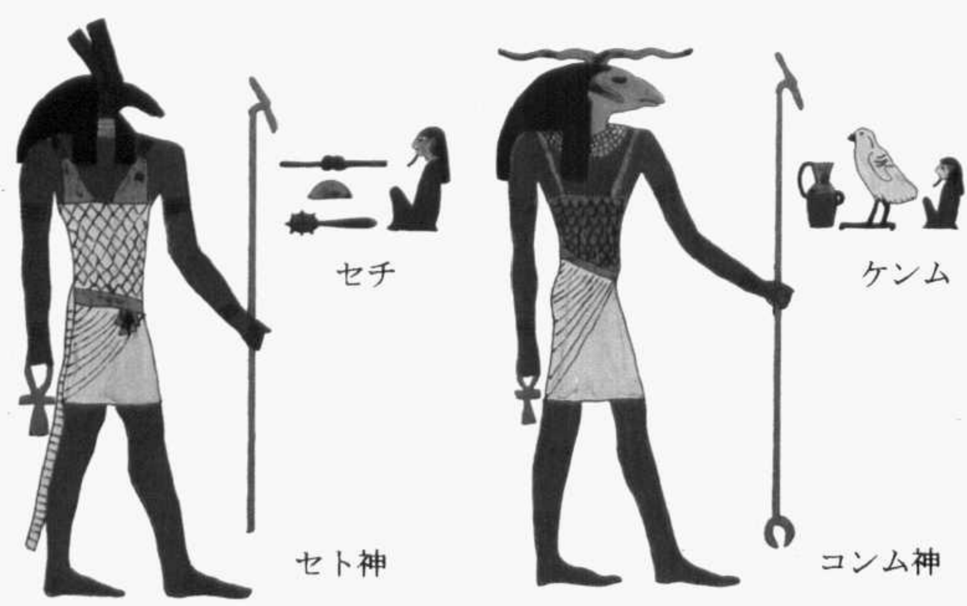
オシリス神



アーセト

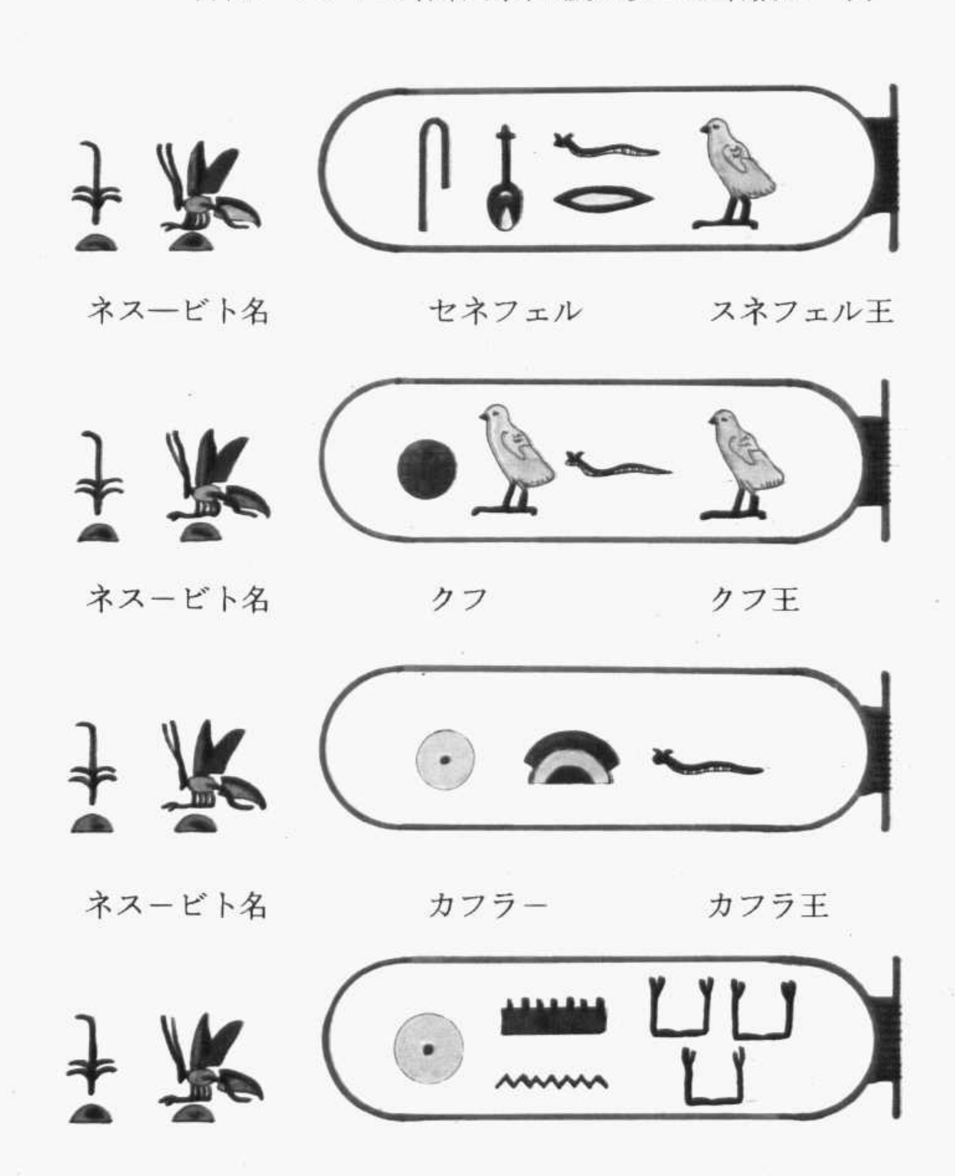
イシス女神


ヘトヘル
インプゥー
ハトホル女神
アヌビス神

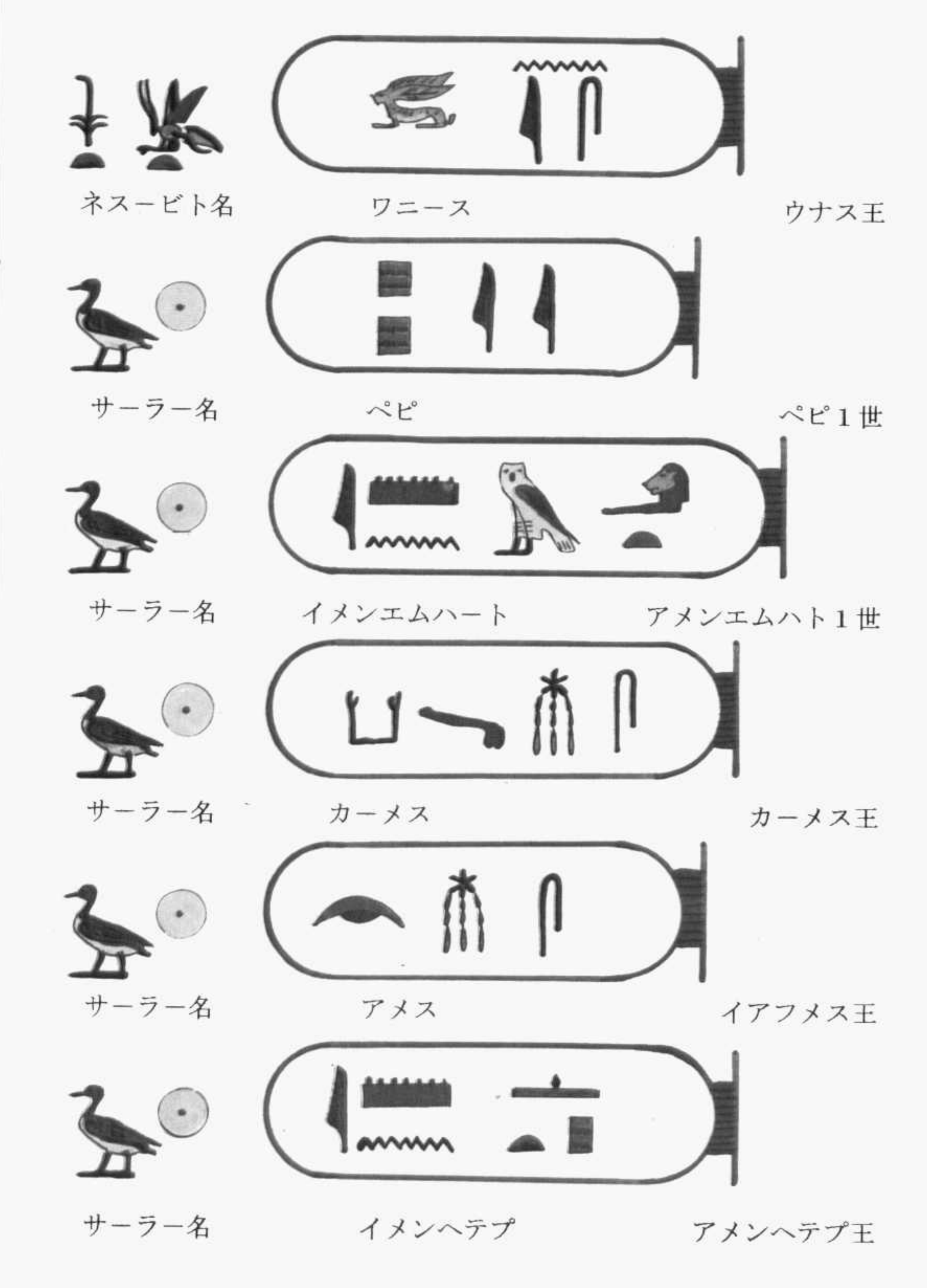

セチ
ケンム
セト神
コンム神

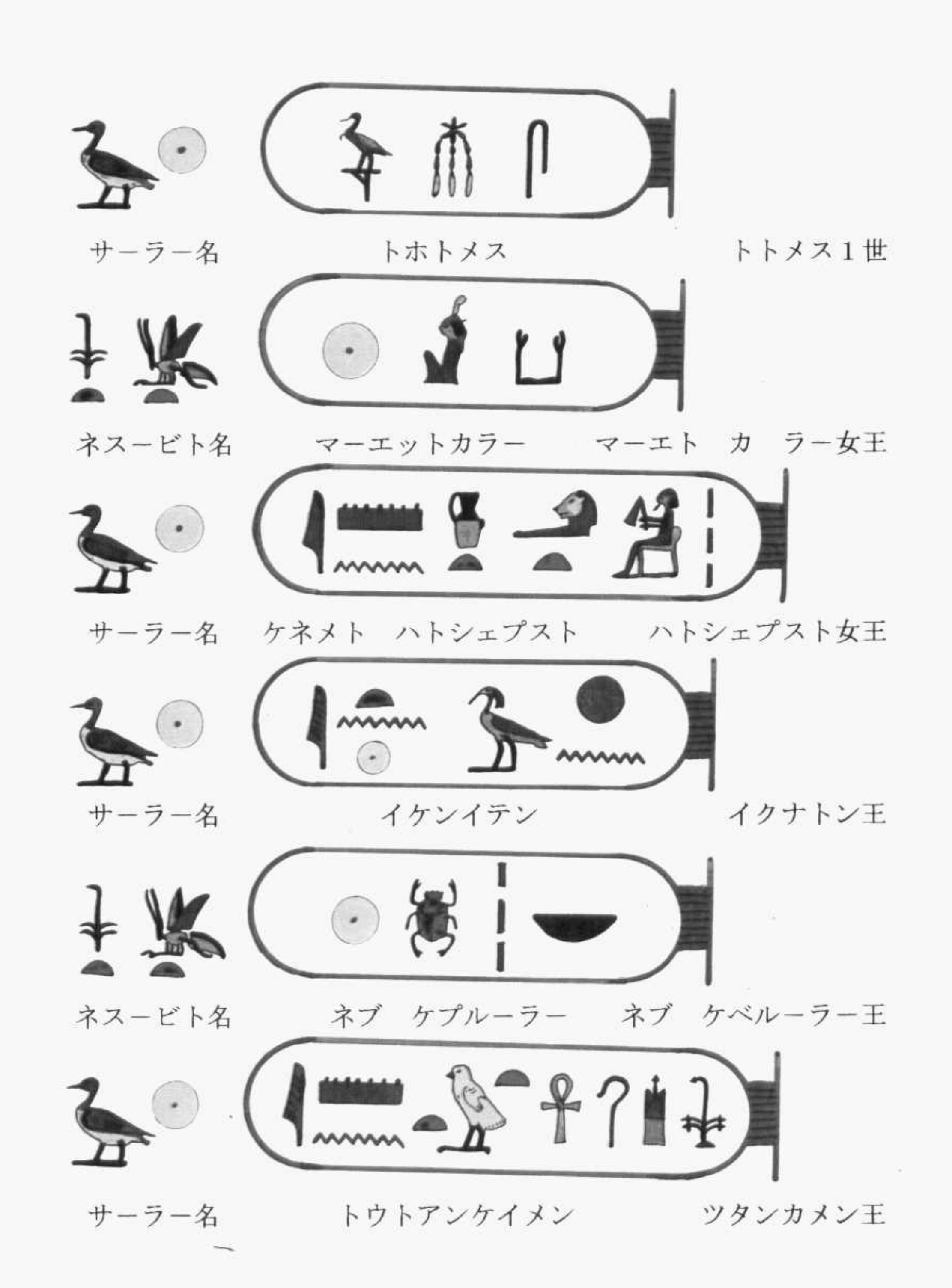
カルトゥーシュ

古代エジプトの有名な国王及び女王の名前の一例

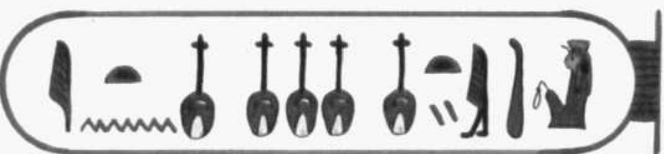


ネスービト名　　メンカウーラー　　メンカウラー王


ネスービト名
ワニース
ウナス王
サーラー名
ペピ
ペピ1世
サーラー名
イメンエムハート
アメンエムハト1世
サーラー名
カーメス
カーメス王
サーラー名
アメス
イアフメス王
サーラー名
イメンヘテプ
アメンヘテプ王


サーラー名
トホトメス
トトメス1世
ネスービト名
マーエットカラー
マーエト　カ　ラー女王
サーラー名
ケネメト　ハトシェプスト
ハトシェプスト女王
サーラー名
イケンイテン
イクナトン王
ネスービト名
ネブ　ケプルーラー
ネブ　ケベルーラー王
サーラー名
トウトアンケイメン
ツタンカメン王

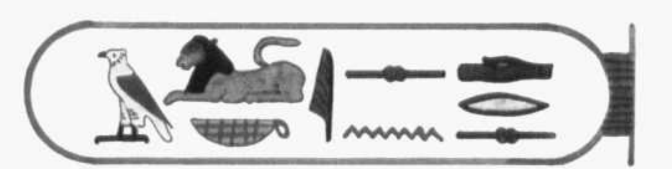

サーラー名
イメンメリー　ヘルイムヘブ
ホルモヘブ王
サーラー名
ラーメッスー
ラメセス１世
サーラー名
ラーメッスー　メリーイメン
ラメセス二世
ネスービトー名
ウセルト　マーエト　ラー　セテプ　エンラー
ラメセス二世
ネスーヘメト　ウェレト名
ネフェルターリ
ネフェルターリ女王
サーラー名
シャバカ
シャバカ王

ネスー－ヘメト　　ウェレト名　　ネフェルネフェルイテンネフェルティティ
ネフェルティーーティ女王




サーラー名　　ペスエムチェク　　プサメティコス王

サーラー名　　アリキセンデレス　　レキサイダー大王




サーラー名　　ポトルミス　　プトレマイオス１世




ネブ　ターウィ名　　ケレイオパデラ　　クレオパトラ７世

古代エジプトの言葉


ペル
家
レム
魚
カー
雄牛
ウィー
ミイラ
シェン
木
ミウー
猫
ペト
空


ヌー
時間
ハイ
夫
ムリ
愛
ケト
火
レン
名前
イウー
犬


ネフェル
美しい



ムート
母



スバ
星



ムー
水



ベント
ハープ、竪琴



シェフドー
巻いている



パ
飛ぶ



エス
男



デプト
船



セト
女



ニウート
村



シリ
子供



メル
ピラミッド

レド
足



イレト
目

ヒエラティク　アルファベット
(神官文字)

ア

イ

イ

ア

ウ

ブ

プ

フ

ム

ヌ

ル

フ

フ

ク

ク

ス

シュ

ク

ク

グ

トゥ

チュ

ドゥ

ジュ

デモティク　アルファベット
(民衆文字)

ア
イ
イ
ア
ウ
ブ
プ
フ
ム
ヌ
ル
フ

フ
ク
ク
ス
シュ
ク
ク
グ
トゥ
チュ
ドゥ
ジュ

コプティック　アルファベット

ⲁ	ア	Ⲛ	ン	ϣ	シュ
Ⲃ	ブ、ヴ	ⲝ	クス	ϥ	フ
Ⲅ	グ	Ⲟ	オ	ϧ	ク
Ⲇ	ドゥ	Ⲡ	プ	ϩ	ハ
Ⲉ	エ	Ⲣ	ラ	ϫ	ジ
Ⲍ	ズ	Ⲥ	ス	ϭ	シュ
Ⲏ	エ	Ⲧ	ト	ϯ	ティ
Ⲑ	テ	Ⲩ	ウ、ヴ		
Ⲓ	イ	Ⲫ	フ		
Ⲕ	ク	Ⲭ	ク		
Ⲗ	ラ	Ⲯ	プス		
Ⲙ	ム	Ⲱ	オ		





ロゼッタストーン

現在大英博物館に収蔵されている黒い玄武岩製のこの碑文は、ヒエログリフとデモティック（以上古代エジプト語）、ギリシア語の３種の文字で書かれています。

ロゼッタストーンのギリシア語版翻訳

父王の王位を継いだ若き者、王冠の主、もっとも栄光あるエジプトを建国し、神に対して敬虔なる者、敵に対して勝利を収めたる者、人民に文化的生活を復興せし者、３０年祭 の主、まさに偉大なるヘパイストス の如き、太陽 の如き王、上下エジプトの偉大なる王、神フィロパトル（Ｐｉｌｏｐａｔｏｒ）の子孫、ヘパイストスの認めし者、太陽が勝利を与えし者、ゼウス の生ける化身、太陽の息子、プトレマイオス～永遠に生きよ、プタハに愛されし者～の治世第９年。

この年に、アエトス（Ａｅｔｏｓ）の息子アエトスはアレキサンドロスの祭司であった。また、神々ソテル、神々アデルポイ（Ａｄｅｌｐｈｏｉ）、エウエルゲタイ（Ｅｕｅｒｇｅｔａｉ）、ピロパトール（Ｐｈｉｌｏｐａｔｏｒｏｓ）、エピパネース・エウカリストス（Ｅｐｉｐｈａｎｅｓ　Ｅｕｃｈａｒｉｓｔｏｒ）の祭司でもあった。

ベレニケ・エウエルゲス（Ｂｅｒｅｎｉｋｅ　Ｅｕｅｒｇｇｅｔｉｓ）のアトロポス（Ａｔｈｌｏｐｈｏｒｏｓ）たるピリノス（Ｐｈｉｌｉｎｏｓ）の娘ピラハ（Ｐｙｒｒｈａ）、アルシノエ・ピラデルポス（Ａｒｓｉｎｏｅ　Ｐｈｉｌａｄｅｌｐｈｏｓ）のカネポロス（Ｋａｎｅｐｈｏｒｏｓ）たるディオゲネス（Ｄｉｏｇｅｎｅｓ）の娘アレイア（Ａｒｅｉａ）、アルシノエ・ピロパトルの女司祭た

るプトレマイオスのイレーネ（Ｉｒｅｎｅ）
クサンディコス（Ｘａｎｄｉｋｏｓ）の月の第4の日、エジプト暦にしてメケイル（Ｍｅｋｈｉｒ）の第１８日。
法令。
ここに参集せし主任祭司たち、神意の告げる者たち、そして神々に礼服を着用せしむるべく神殿の内に入りし者たち（神像を直接礼拝できる者＝高位神官と王）、プトレマイオス～永遠に生きよ、プタハに愛されし者～、扇の保持者たち、聖書記たち、その他すべての祭司および聖職者たちは、この日メンフィスの神殿に参会し、神、エピファネス・エウカリトスの、王がその父王より継ぎし王位への即位の祭典に、王と会すべく全土の神殿よりメンフィスに参集し、宣言す。
ここに王、プトレマイオス～プタハに愛されし者、神～エピファネス・エウカリストスよ、永遠に生きよ。

王プトレマイオスと王女アルシノエの息子、神ピロパトールは、イシスとオシリスの息子にて父オシリスの仇を討ちしホルスの如く、神殿とそこに住まう者たちの守護者たると同時に臣民たちの保護者たる。
さらに慈善の心に富み、神殿に金銭と穀物を献納し、かつまたエジプトに繁栄をもたらすべく多額の支出を惜しまず、神殿を建立し、王自身の富について気前よい、神々の意志に恭順なる王であった。

王は、エジプトにて徴収せし税の、あるものはすべて免

除し、他のものは軽減し、その治世の間、人民とすべてのものが繁栄出来るよう治め、またエジプトにおいて、他の地においても王権に対する負債を容赦され、獄につながれた、告発を受けし者たちに恩赦を下され、そして長きにわたり獄に繋がれたまま告発を受けし者たちに恩赦を下された。

さらに王は、神々がその神殿の収入を享受し続けられ、金銭と穀物で毎年の供物を得られるよう、その父王の御代に、神々に属せしぶどう園、庭園、その他の土地より得られし収入も同じくお供えするよう指示され、祭司たちに対し、その父王の御代を通じ、また、王自身の治世の第一年に至るまで、聖職就任のための費用以外の課税は不要なることを指示され、毎年のアルキサンドリアへの行幸に、聖職階級の者の同行を免除され、海軍の徴兵の免除を支持され、王は神殿より王室に対して支払われおりしビュッソス（良質の、細い亜麻織物）布の税を３分の２に軽減された。

そして、神々に対してなすべき伝統的義務の履行に気を配り、過ぎし世になおざりにされしもの全てを、ふさわしき状態に回復された。

また、偉大にして偉大なるヘルメス（Hermes）の如く、すべての者に正義をもって接され、戦士ならびに動乱の時代に心ならずも徴兵せられし人々に、その報酬として、かつての資産の回復を許されるよう、定められ、騎兵およびに歩兵、また艦船を、エジプトに、海陸両面から侵入せし

者に対して備え、神殿ならびに国土の人々、すべての安全を確保すべく、多額の金銭と穀物を支出された。

そして豊富な武器とあらゆる物資を蓄え、包囲に対して要塞化されたるブシリス（Busirite）地区のリュコポリス(Lycopolis)へ進軍された。（エジプトの神殿とすべての住民に多大の損害を与えし邪悪なる者どもの間に、長らく不満の心よどみたるを見たり。）

布陣し、土手や壕にてこれを囲み、巧みに築城された。（その治世の）第８年、ナイルが大増水せしとき、常なれば、平地に氾濫せしものを、王は多くの場所に排水口をつくる治水工事を行いてこれを防ぎ、（このために少なからぬ出費をなされ、）騎兵と歩兵を配して守らしめ、短時間の猛攻でこの町を奪い、邪悪な者どもをすべて滅ぼした。

かつて、この地において叛徒を鎮圧したるヘルメス（※トト）や、イシスとオシリスの息子ホルスの如くに。

王は、父王の御代に叛徒を率いし者ども、国土を騒がせたる者ども、神殿に対し、メンフィスの都に来たりて、その父王と、王ご自身の仇を討ち、当然の報いとしてすべてを罰せられたり。

その後、王位への即位にふさわしき典礼を挙行すべく、かの地に来られしとき、少なからぬ額の金銭と穀物につき、その治世の第８年に遡りて、神殿の王室に支払うべきものを免除し、ビサス市のための負担金も、王室への支払いを免除し、同じ期間中の、証明書発行手数料のみにとどめた

り。

王はまた、神殿の聖なる土地に課せられしアルーラ（aroura＝土地の尺度、１エーカーの３分の２）ごとのアルタベー（収穫税)を、同様にぶどう園のアルーラごとの壷いっぱいのワインを免除されたり。

王はアピス（Apis）とムネヴィス（Mnevis）、その他のエジプトの聖なる動物たちに多くの贈り物を下されり。それらは、王は神々に属せしもの、すべてを先代の諸王よりいっそう深く思し召されておりしがゆえなり。

そして、その埋葬のため、王は惜しみなく見事な供物を供えられ、生贄と祭典、また他の慣習上の儀式を行い、特別の神殿に対し支払いを定期的に与えられたり。

王は法に従いて、神殿と、エジプトの名誉を保ちたり。豪華なる細工にてアピスの神殿を飾り、そのために、少なからぬ量の金・銀・宝石を使われたり。また王は神殿や寺院、祭壇を建設され、必要な修繕も行われ、信仰に対して奇特なる精神を持たれたるがゆえに、審判ののち、その治世において神殿の最も高貴なるものを一新し、いまもまた一新しつつある。

神々は、これに報いて、王に健康、勝利と力、その他のよきものをすべて授けたり。

王とその子らは、永遠にその王位を保ちつづけるであろ

う、慈悲深き幸運に恵まれて。

国土のすべての神殿の祭司によりて、王プトレマイオス～永遠に生きよ、プタハに愛されし者～、神エピファネス・エウカリストス～の、すでに持ちたる名誉をいや増すべく、ここに次のことを決議せり。

その両親の神、フィロパトル、祖先の神エウエルゲタイ、神アデルフォス、神ソテルと同じく、すべての神殿のもっとも高きところに永遠に生きる王プトレマイオス～プタハ神に愛されし者、神エピファネス・エウカリストス～の像を建立すべきこと、その像は「プトレマイオス、エジプトの守護者」と、呼ぶべきことを。

その像の側には、勝利の武器（三日月形の曲刀、ケペシュ）を手渡す、神殿の主神が立つであろう。

これらはすべて、エジプト風の様式で作るべきものなり。

祭司たちは、1日3回これらの像に礼拝し、像に聖なる衣を着せ、エジプトの祝典で他の神々に対してなされるものと同じ栄誉を執行すべきなり。

王プトレマイオス～プタハ神に愛されし者、神～エピファネス・エウカリストスとともに、王と女王アルシノエの子、神フィロパトルのためにも、おのおのの神殿に黄金の祭壇が建立され、それが他の祭壇とともに神殿の室内に安置されること、祭壇が行列なして運ばれる大祭には、神エピファネス・エウカリストスの祭壇も、ともに行列に加えて運ばれるだろう。

祭壇には、今日も、また、後の世にも用意に区別できる

よう、１０の金の王冠が被せられ、蛇の形象 がつけ加えられよう。

他の祭壇の上にある、蛇の形象の代わりに、その中心に王が即位の儀式を行うために、メンフィスの神殿に入ったときに被るプスケント（Pschent）と呼ばれる王冠が置かれよう。まわりの四角い表面の上、先記した王冠のかたわらには、８を表す黄金のシンボルが置かれよう。

これらは、これが、上下エジプトの王の祭壇であることを内外に宣言するためのものである。

この祝いは、王の誕生日が祝われるメソレ(Mesore)月の第３０日 、王が父王の座を継いだパオピ（Paophi）月の第１７日　に行われ、これらの日々は、すべての者にとり、大いなる祝福の源なる、神殿の命名日としての栄誉をもつ。

また、毎月のこれらの日々に、エジプトの国中の神殿で、祭礼が行われるべきであることも、布告する。その際には、生贄と献酒、他の祭りで儀礼習慣となっていることのすべてが行われ、供物が、神殿につとめる祭司たちに与えられるべきであろう。

そして、王、プトレマイオス～プタハ神に愛されし者、神～エピファネス・エウカリストスのために、毎年、トト（Thoto）の月の第１日 から５日間、国中の神殿において、祭礼が行われるであろう。

そのとき、人々は花冠を被り、生贄と献酒その他の栄典を行い、おのおのの神殿の祭司たちは、自分たちの仕える神々の名に加えて、神エピファネス・エウカリストスの祭司と呼ばれることになろう。

このことは、すべての公用文書に書き込まれ、彼らの身に着ける飾り環にも刻まれるであろう。

人々もまた、法に従って、エジプト人の王たる神、エピファネス・エウカリストスを賛美し、その栄誉を讃えていることをあまねく知らしめるため祭礼を行うこと、前記の祭壇を建立すること、それを家の中に安置して、毎年、ここに述べたような祝賀を行うことを許されよう。

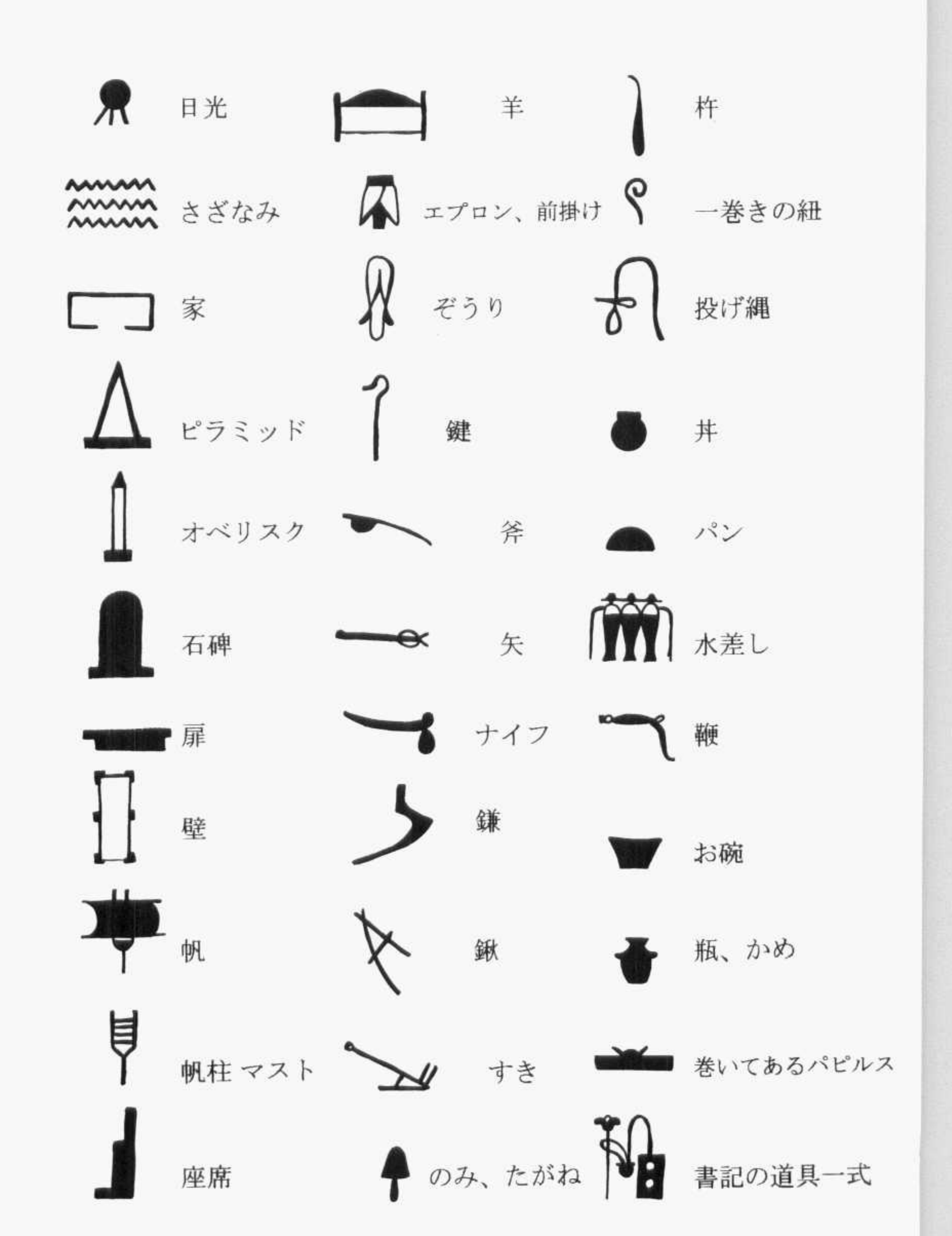
この法令は硬い石碑に、聖なる文字（ヒエログリフのこと）と、人民用の文字（デモティック）とギリシア語とで刻まれ、第一、第二、第三（級）の神殿に、永遠に生きる王の側に安置されるであろう。



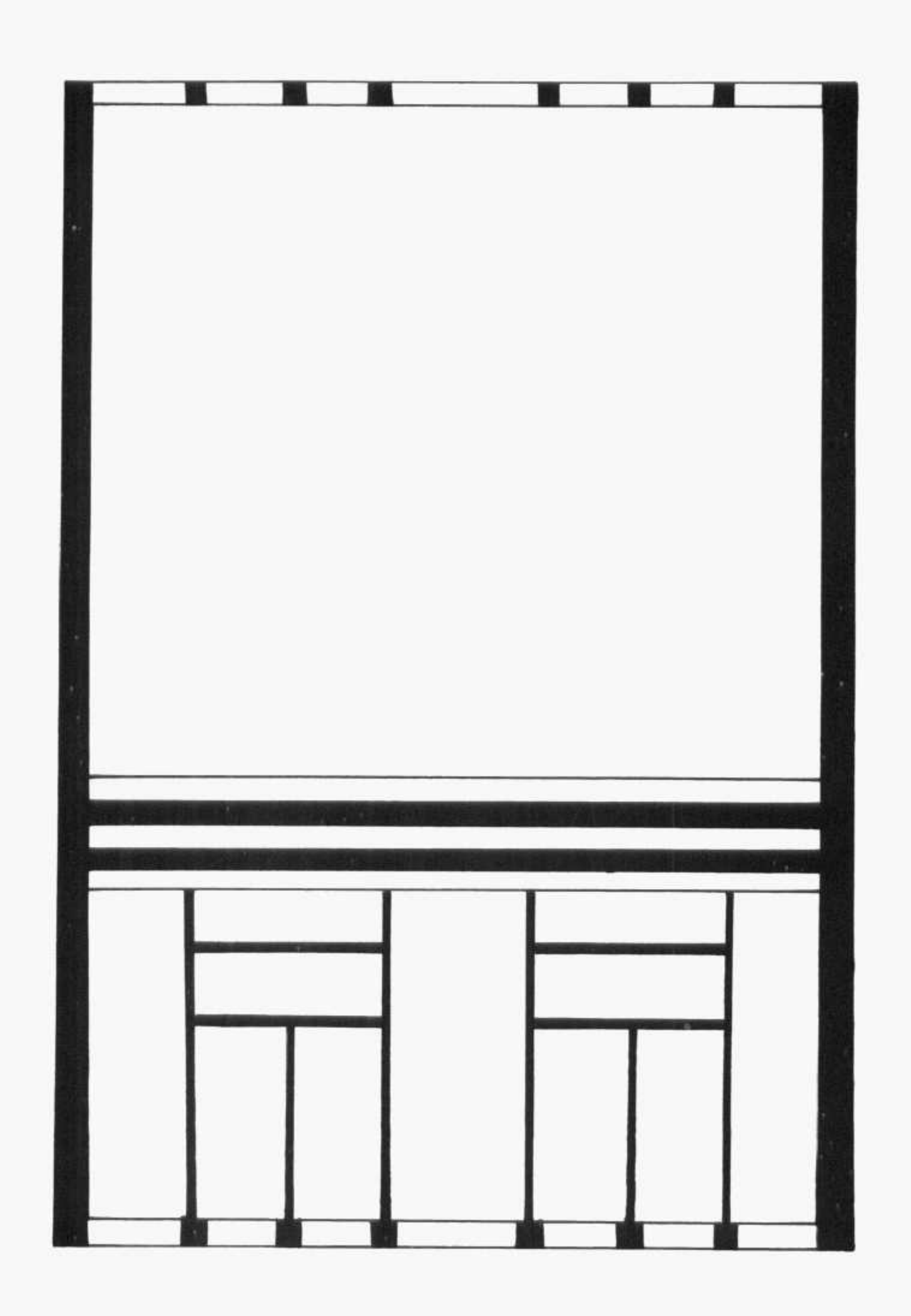
ヒエログリフ　記号の表


男
女
子供
兵士
国王
ミイラ
女王
踊る人
国王、王子
頭
顔
目
髪の毛
耳
鼻
口
胸
唇
両腕
両腕
両腕
前腕
手
兼骨
指
陰茎
両足
足
足
足の指

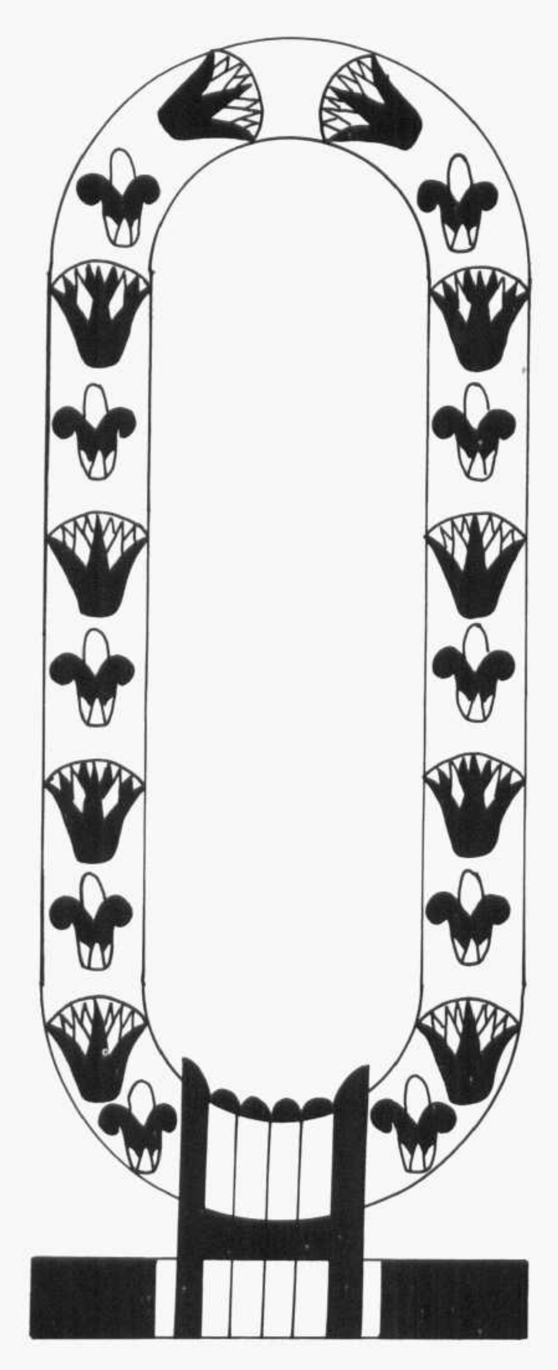

牡牛
牡牛の頭
トカゲ
仔牛
牡牛の角
コブラ
馬
牡牛の耳
魚
ロバ
牝牛の皮
フンコロガシ
羊
心臓
ハエ
猫
尾
ハーブ
グレーハウンド
隼
枝
ライオン
ワシ
葉
象
ツバメ
とげ
猿
翼
空
ウサギ
羽根
太陽



日光
羊
杵
さざなみ
エプロン、前掛け
一巻きの紐
家
ぞうり
投げ縄
ピラミッド
鍵
井
オベリスク
斧
パン
石碑
矢
水差し
扉
ナイフ
鞭
壁
鎌
お碗
帆
鍬
瓶、かめ
帆柱 マスト
すき
巻いてあるパピルス
座席
のみ、たがね
書記の道具一式



早い時期の王朝では王様の名前はセレクと言う四角形の額の中に書かれていました。



古王国時代から、王様の名前はカルトゥ-シュと言う楕円形の中に書かれるようになりました。



パピルス紙に文字を書いている書記

ホルモヘブ王のお墓　—　サッカラ

ヒエログリフ

デモティク

ЄϤ ϢΙΝЄ ÑCA TωPΠ M̄
ЄϨPAI Ñ Ñ ϬΙΧ Ñ NЄK

コプティック

ヒエラティク